

第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001

第156号



桜咲く、ユズロイヤリティ

新しい学年が始まるこの時期、私たちの目標は、来年の桜の花が美しく咲くように、今から準備を始めることです。桜の花が春に美しく咲くためには、花が咲く前の枝や幹の手入れが重要です。同様に、学びにおいても、毎日の勉強の習慣が成功の基盤を作ります。まず、毎日決まった行動の前後に勉強することから始めましょう。計画的に学習することで、知識はしっかりと根を張り、理解が深まります。また、適切な休憩を取り、勉強の場所を整理整頓することも、効率的な学習には欠かせません。

しかし、ただ勉強するだけではなく、そのプロセスを楽しむことが大切です。小さな成功を祝い、自分自身を励まし続けることで、モチベーションを保ちながら、自分だけの美しい「桜」を育てていくことができます。

今年の勉強は、来年の桜の花を咲かせるための重要な一歩です。一緒に素晴らしい「桜色」の一年を迎えましょう。

(日下先生)



新たなステージへ

新学期が始まる4月、大きな希望と少しの不安を抱きながら、準備を進めている今日この頃だと思えます。

この度小学校・中学校・高校に晴れて進学する生徒諸君、おめでとうございます。

真新しい制服・教科書、学校施設、何もかもが新鮮で、高揚感に満ち溢れていると思います。

通学や授業形態、授業内容やレベル、部活動などに最初は少し戸惑うこともあるとは思いますが、大丈夫です。焦らず少しずつ慣れていきましょう。4月は自分自身のペースをつかむ月だと思えます。

また、次学年に進まれる生徒諸君も1年前にできたいい習慣は意識をして今年も継続、あまりうまくいかなかった自身にとつての課題は今年で改善、人それぞれいろいろな目標があるとありますが、意識して取り組んでいきましょう。

4月スタートを、最高の形で切っけていきましょう。第一ゼミ講師一同、心より応援しています。

(竹田先生)



ゼミ中学部だよー

2025年春期講習会、そして新年度が本格的にスタートしました。新中1生・新中2生、そして新中3生の皆さん、入学、進級併せておめでとうございます。

新しい文房具・教科書・参考書・制服やかばん、そして新学年のクラスというふうな、すべてが新しい環境の中で改めて学校生活を送っていくこととなります。

春期講習会で各学年の先取り学習をしているとはいえ、やはり緊張はするものですね。しかしながら、強弱はあるにしても皆、同じよ

うに緊張、不安、楽しみや期待と違った気持ちを持っているでしょうから、あまり気にする必要はありませんよ。

新しい友達を作ったり、勉強を楽しくしたり、新しい環境で部活を始めたり、そして自分の目標を新たにしたりと、自分の気持ちを前向きにできる大きな機会が新年度です。一人ひとりの人生を有意義で楽しいものにしていきましょうね。

それでは最後に、私、工藤個人として新高校1年生の皆さんに改めて応援メッセージを送らせて頂きます。皆さん、これから始まる高校生活にワクワクしているでしょうか？それとも、少し不安な気持ちもあるかもしれませんね。実は、普通に私もかつて同じような気持ちを抱いていたのですよ。

高校生活は、人生の中でも特別な時期です。この時期には、新しい友人や素晴らしい経験が待っています。同時に、勉強や部活動、進路選択など、多くの挑戦もあります。失敗することもあるかもしれませんが、それが積み重なれば大きな成果につながります。毎日の努力を大切にしてください。

三つ目、「仲間を大切にすること」です。友人や家族、先生方との絆を深めてください。困ったときや嬉しいとき、一緒に過ごす時間があるあなたの力になります。

四つ目、「自分を信じること」です。時には自分に自信が持てなくなることもあるかもしれませんが、自分の力を信じて進んでください。皆さんには無限の可能性があるのであるのです！

新しい高校生活が、皆さんにとって素晴らしいものとなるよう、心から応援しています。何か困ったことや悩みがあれば、いつでも気軽に相談してください。私たちはいつでも皆さんのそばにいます。一緒に頑張りましょう！

(工藤先生)



新年度のストレス解消

進級・進学により、新しい環境で過ごし始めて数週間。皆さん、今のところ順調でしょうか。春期講習を経て新しい勉強の準備は万全だと思えますが、それ以外の友人関係や生活リズムの変化などに伴う心理的ストレスは多大なものに飛び込むことは、慣れないことの大変です。だから、例年ゴールデンウィーク後に、いわゆる五月病になる人が出てくるのだと思えます。

五月病を予防するためには、ストレスや疲労を溜めないことが大切です。疲労回復を心掛け、自分にあつたストレスの解消法をみつけてみましょう。具体的には趣味に打ち込んだり、運動をしたり、悩みがあればすぐに家族や友人に打ち明けたりすることが大切です。個人的には趣味を楽しむのがお勧めです。時には思いっきり心も体も休めてリフレッシュするのもいいでしょう。

というわけで、久しぶりにお勧めの本を紹介したいと思います。ストレス解消のための読書ということではまず笑える本。

①原田宗典のエッセイ全般『むむむの日々』『十七歳だった！』など、とにかく一篇が短くて読みやすいうえに笑える、バカバカしい話ばかりなので軽い読み物をお探しの方には是非。注意・・・勉強にはなりません。品もありません。

②伊坂幸太郎『陽気なギャングが地球を回す』他。伊坂幸太郎の初期の作品はなんだか酷いことが起きてもどうにもなるような感じがします。そんな面白い雰囲気のものが多いので安心して読めるでしょう。人気作家なだけあり、どの作品も面白いのでお勧めです。

③小川洋子『博士の愛した数式』は、なんとあの本屋大賞の第1回本屋大賞受賞作品です。記憶が80分しか持続しない数学者と母子の交流を描いた感動作品。映画化もされているので、本を読むのが億劫な人はそちらを。

④ダニエル・キイス『アルジャーノンに花束を』も超がつくほど有名作品。知的障害を持つ主人公がある手術で天才になるが・・・というお話。海外作品でありながら日本でも二回ドラマ化されています。しかし、個人的にはこの作品は本でしか楽しめない仕掛けがあるので本で楽しんでほしいです。

(宇都宮先生)



新学期の心得

よう。春は出会いと別れの季節です。今までの友達とは、もしかしたら会う機会が減ってしまうかもしれません。昨年の担任の先生とはもう会えないかもしれません。寂しく感じることもありますが、これから新たに会おう人達との生活にすぐに慣れていきます。良くも悪くも、春とはそういう季節です。変化する環境に慣れることもさることながら、やはり皆さんの一番の心配は勉強のことではないでしょうか。成績が下がる原因は何だと思えますか。学年が上がることで内容が難しくなるからだと考えていませんか。

実はつまり一番の理由には、単純に勉強時間の不足が挙げられます。内容が多少難しくなるのは仕方ないにしても、それに応じた勉強時間を確保できているでしょうか。難しいと感じているのに、いつまでも以前と同じ学習時間とというのはおかしな話です。わからないと思うならなおさら学習量を見直すべきなのに、部活や習い事や遊びを優先する結果、基礎を確立できないまま深みにはまるので、学年に合わせた十分な長さの勉強時間を確保していても、成績が下がっていく人なんてそうそういるものではないと思います。成績が下がったのであれば、全て自分の努力不足が所以だと反省してほしいと思えます。

とはいえ気分を一新して頑張れる新年度です。春の到来は誰しも浮足立ちますが、この高揚したテンションを維持したまま、勉強へと昇華していきたいものです。齧しをかけるようですが、一学期の初っ端からゆるんだ気持ちで勉強をさぼると、取り返しがつかないことになりかねませんよ。後悔しないために、今の大切な時期に日々真剣に取り組んでくれることを願います。

(今岡先生)

